Good Neighbors Japan

Good Change for the World

グッドネーバーズ・ジャパン 年次報告書

2018

2018.1 - 2018.12

ごあいさつ

皆様の日頃からのご支援・ご協力にあらためて感謝を申し上げます。
国際NGOグッドネーバーズ・インターナショナルは昨年、世界36カ国に於いて200万人以上の子ども達、教師、そして地域住民を対象に教育や医療、収入向上支援など様々なプログラムを実施しました。
今年も、昨年の活動をまとめた「年次報告書」を皆様にお届けいたします。

グッドネーバーズ・インターナショナルの日本法人であるグッドネーバーズ・ジャパンは、アジア・アフリカにおける子どもの教育支援を中心とした地域開発や、災害時の緊急支援などを実施しております。昨年はラオスのダム決壊による水害や、インドネシアのスラウェシ島で発生した地震の緊急支援を行いました。スラウェシ島の被害は大きく、2019年度も引き続き仮設住宅の設置支援を続けております。
昨年は、国内でも西日本を中心とした記録的な豪雨災害があり、当団体も愛媛・岡山・広島の3県で災害ボランティアセンターの運営支援や、子どもの学習支援を行いました。

また、2017年から取り組んでいる、国内のひとり親世帯を対象としたフードバンク事業「グッドごはん」では、2019年4月までにのべ2,000世帯以上に食品を配付することができました。この活動も、皆様方のご支援のたまものと感謝しております。昨年グッドごはんの利用者に対して行った調査では、給食がない学校休みの期間中に「3食きちんと食べている」と答えた人は43%でした。日本のシングルマザーの就業率は世界的に見ても高いのに、なぜ50.8%ものひとり親が相対的貧困に陥らなければならないのでしょうか。

2015年9月に国連で採択された持続可能な開発目標(SDGs)では、日本を含む国連に加盟するすべての国が、2030年までに「持続可能」で「誰も取り残さない」世界を作るために力を尽くすことが求められています。

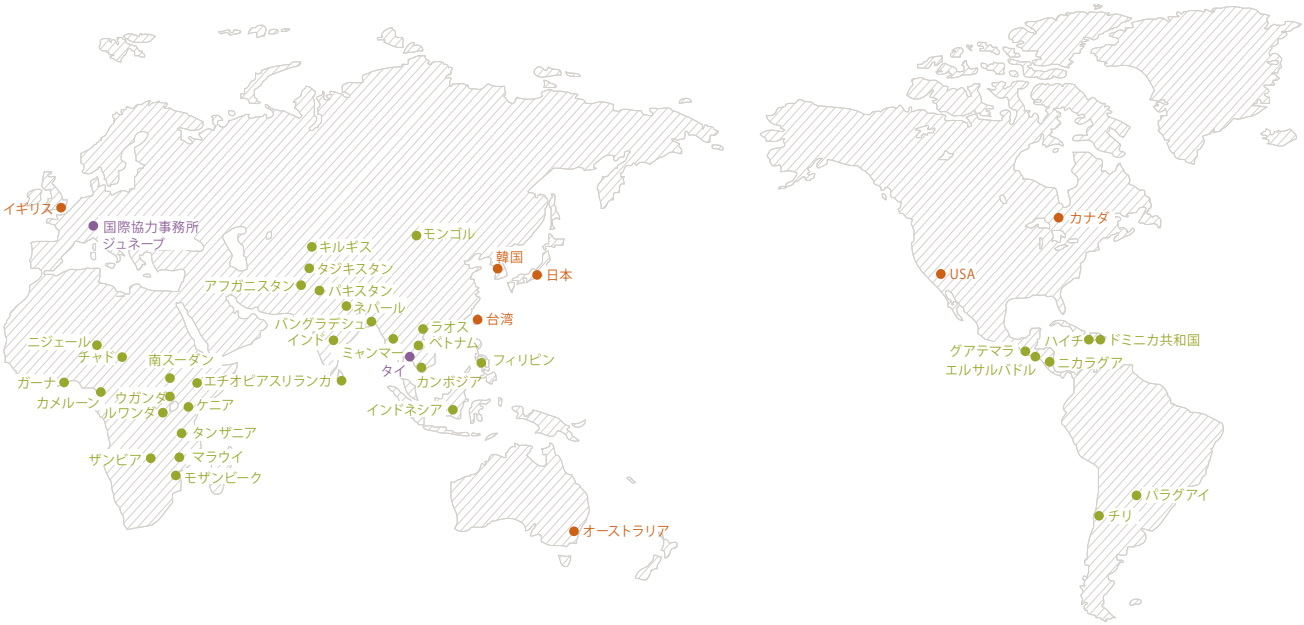
国内外を問わず、子どもたちの将来・可能性が彼らの生まれた環境によって左右されることのない社会をつくるために、今後ともグッドネーバーズと共に子どもたちのこころと身体の成長を見守っていただけますようお願いいたします。

福井 玲

グッドネーバーズ・ジャパン代表理事
東京大学教授

活動地域

● 支援を受けている国　● 支援している国　● 国際協力事務所ジュネーブ
Gloval Capacity Development Center



活動分野

2018年の成果

36カ国210カ所での地域開発プロジェクト

支援している国
（韓国、日本、アメリカ、カナダ、オーストラリア、イギリス、台湾）

地域開発プロジェクト

支援を受けた子ども
209,356人

参加した地域住民
2,147,362人

教育支援
1,297,699人

収入向上支援
61,594世帯

保健医療支援
955,682人

アドボカシー
918,225人

水・衛生支援
586,274人

緊急支援（海外）
252,985人

教育

2018年の成果

教育の機会を広げる

学校設備
843,328人

学費学用品
208,995人

教育の権利
179,308人

教育の質向上

教職員研修
4,018人

ホープスクール
62,050人

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート①

2013

身長：88cm
体重：11kg

2018

115cm
22kg

イッサ　マハマト　イッサくん　9歳（チャド）

イッサくんはチャドのファシャアテレに住んでいる、小学校の1年生※です。活発な性格で、おもちゃで遊ぶことが好きです。学校で一番好きな教科は美術で、将来の夢は先生になることです。祖父母、両親、姉1人、妹1人と一緒に暮らしています。畑仕事をする父親の収入に頼っていますが、生活は楽ではありません。グッドネーバーズは、学費と学用品を支援しています。

※チャドの教育制度　初等教育（5年制）、中等教育（7年制）

2013

身長：111cm
体重：20kg

2018

145cm
37kg

パヴィタラ　クマールちゃん　15歳（インド）

パヴィタラちゃんは勤勉な性格で、中等教育課程校の8年生※（日本では中学2年生）です。ラバーバンドゲームというゴムを使った遊びが好きです。好きな教科は国語で、将来の夢は教師になることです。祖母、両親、弟1人と一緒に暮らしています。家族は35年前、インド南部のタミル・ナードゥ州より仕事を求めてチクジャラに引っ越してきました。両親は採石場で仕事をしていますが、月に6,000円ほどしか稼ぎがなく生活は楽ではありません。パヴィタラちゃんはグッドネーバーズから家庭訪問、保健教育、カウンセリング、健康診断、学用品支援などのサポートを受けています。

※インド・チクジャラの教育制度　小学校4年制、中等学校6年制

カンボジア

“
ワードやエクセルなどコンピュータのテクニックが上達し、英語の実力もつきました。
IT専門技術を習いながら、中退してしまった学校での勉強を続けることができてとても嬉しいです。試験も良い成績で合格できました。

ソク　ソキタ / 職業訓練センターの生徒
”

勉強しながら専門技術を習得

カンボジアの農村地域には、家庭の経済状況が悪く学業を中断せざるを得なかった15〜18歳の青少年が多くいます。彼らは専門技術を必要としない工場や建設現場などで、僅かな賃金で仕事をするしかありませんでした。
グッドネーバーズ・カンボジアでは、彼らが教育を受けながら仕事につながる専門技術を習得できるように、職業訓練センターを運営しています。青少年たちはセンターで英語や数学などの基礎教育を受けながら、エンジニアとしての技術を習得することができるようになりました。

英語試験合格率
46% → 75%

IT試験合格率
18% → 76%

アフリカの未来に明かりを灯す希望の学校

“
以前は教室、机、トイレなどの設備が足りなくて生徒も教師も満足に授業ができませんでしたが、ホープスクールのおかげでこのような問題は解消しました。
なにより生徒たちの勉強に対するやる気がアップしましたし、実際に出席する生徒数も増えて、みんな活き活きと通っています。

ディバルラ　ビチャルリエル / マラウイ
カンガミンナ学校　運営委員会運営委員長
”

グッドネーバーズは2009年より、「アフリカの子どもたちにより良い教育の機会を提供する」ことを目標に、アフリカ12カ国で58校の学校を運営しています（ホープスクール事業）。
2018年は、これまでの成果を元に3つの目標を立て、ホープスクールがアフリカの子ども個々の成長にとどまらず、地域社会にまで良い影響を及ぼす事ができるように支援しました。

マラウイのホープスクールにおける3つの目標の成果

学びの希望　学習環境改善による学習効果向上

教室あたりの生徒数

その他の学校
160人

ホープスクール
101人

59人減少

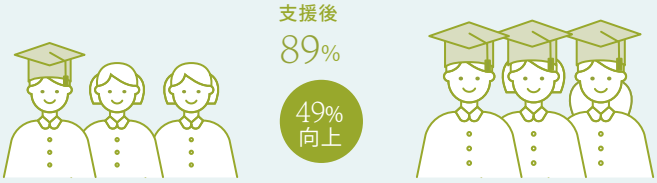
未来への希望　進路指導による将来への意識向上

進学率

支援前
40%

支援後
89%

49%向上



地域の希望　児童クラブ活動によるコミュニティの意識向上

市民の教育に対する意識調査

その他の学校
4.25点/5点

ホープスクール
4.34点/5点

医療・保健

© 노성철 / Good Neighbors

2018年の成果

保健医療設備支援
1,052件

母子保健サービスの質向上
398,138人

病気の予防と健康管理
432,639人

栄養の支援と管理
118,260人

地域保健員、村の保健委員会支援
6,645人

地域保健所で医療へのアクセスを改善

モザンビークのチョンゲン地域では医療施設の不足に加え、誤った民間療法が未だに残っており、病気に罹った人々や妊産婦は適切な治療が受けられずにいました。
グッドネーバーズは地域保健所の建設と医療機器を支援すると同時に、地域住民へ保健の知識を広めるため、地域保健員のトレーニングを行いました。

“前は、最も近い保健所が26Kmも離れていました。行くことが難しすぎて、保健所での出産は考えていませんでしたが、グッドネーバーズの保健所が、徒歩1時間（5km程度）の距離にできたので、産前管理も受けて母子ともに安全に出産することができました。

ロサ ヌデブ / 保健所で出産した女性”

保健教育を受けた地域住民の数
536人

産前管理を受けた妊婦数
19人

水・衛生

© Good Neighbors

2018年の成果

飲料水・衛生施設支援
490,433人

衛生教育・研修
92,978人

水・衛生管理委員会活動支援
2,863人

授業に専念できるよう、学校の衛生環境を改善

“前はトイレで使う水は桶で運ばないといけないので大変でしたが、トイレに水道ができたので使いやすくなりました。”

ウドヨン高等学校　生徒

“臭くない、きれいな水が飲めるようになって良かったです。”

チュトスルタンプル 高等学校　生徒

バングラデシュのシャキプル地域とボチャガンジ地域の学校の衛生環境は、他の地域と比較して特に悪い状況にあります。学校で主に使われているのは手押しポンプ式の井戸で、地下の浅い部分にある水しか汲み上げることができません。そのような水には鉄、ヒ素、有害な細菌などが多く含まれ、様々な健康被害が問題となっていました。

早急な衛生設備の改善が必要とされていたため、グッドネーバーズ・ジャパンは、個人寄付者のご支援により、同地域の3つの学校で、深い地層から安全な地下水を汲み上げることのできる井戸を建設したほか、手洗い場の建設やトイレの修復工事、水道の設置等を行いました。
また、水因性の伝染病予防や、安全な水を使うことの重要性について伝えるキャンペーンも行いました。この活動は現地の新聞にも取り上げられ、生徒たちの意識の向上にもつながりました。

これにより、3校の生徒と教師約1,200名の衛生環境が改善され、健康を害するリスクが軽減しました。
新しくなった設備を長く清潔に使い続けられるよう、今後はグッドネーバーズの助言のもと、学校が責任をもって管理します。

収入向上支援

© 김상준 / Good Neighbors

2018年の成果

収入向上支援
61,594世帯

協同組合支援
1,167の組合

社会的企業
8社

能力強化研修
108,698人

共同組合で育まれた自立の力

“良い材料と技術はありましたが、どんな製品が売れるのかわかりませんでしたし、販売する場所も検討がつきませんでした。グッドネーバーズのおかげで良い商品を生産、販売できて胸がいっぱいです。販売収益で二人の娘の教育費も払うことができて、自信も持てるようになり、一日一日が楽しいです。

ペドウシ / バングラデシュ ミプル組合員”

バングラデシュのミプル組合には14人の低所得世帯の女性たちが加入しています。彼女たちは「ジュート」という天然素材を編み込んで小物を製作する技術を持っていましたが、デザイン性が低く、また販売ルートもなかったため収入につながりませんでした。
そこでグッドネーバーズは、彼女たちの技術と資源を活かした収入向上活動支援を進め、市場調査をしてアイテムを選定し、試作品を何度も作りながら彼女たちとジュートバッグを製作しました。
このバッグは、グッドネーバーズが各国と地域の特性に合わせて開発しているブランド「MERRY COOP」の製品の一つとして、韓国でも販売されています。

ミプル組合員の所得

1.8倍

2,500BDT
（約3,100円）

4,520BDT
（約5,700円）

© Good Neighbors

グッドネーバーズ・ジャパンの成長ノート②

2013

身長：127cm
体重：24kg

2018

161cm
43kg

ヨナス　デゲネくん　15歳（エチオピア）

ヨナスくんはエチオピアの首都・アディスアベバ郊外にあるリデタというスラムに暮らす、小学校7年生※の男の子です。優しい性格でボール遊びが好きです。学校で一番好きな教科は科学で、将来の夢は医者になることです。父親はヨナスくんが小さい頃別の女性と結婚したので、今は母親と2人で公営住宅で暮らしています。母親は日雇い労働で生計を担っていますが、HIVに感染しており寝込んでしまうこともあります。ヨナスくんはグッドネーバーズから、学費、学用品、食品配付、健康診断などの支援を受けています。

※エチオピアの教育制度　小学校8年制、中等教育課程校4年制

アドボカシー

子どもを学校に行かせるように呼びかける就学キャンペーン（ネパール）。
プラカードには「私を学校に行かせて。勉強がしたい。」と書かれています

2018年の成果

啓発キャンペーンの参加者
787,004人

子どもの権利委員会の参加者
94,656人

出生登録をした子どもの数
36,565人

政策懇談会開催数
187回

政策提言書提出
18件

法律や条例の改正
1件

「子どもの権利」を知ってください！

“児童クラブで私にどのような権利があるか、なぜ守られなければならないのかを知りました。そして、人形劇やキャンペーンを通して地域の人たちにも「子どもの権利」がいかに重要かを一生懸命伝えたつもりです。私と友達の権利を守るための活動ができて満足しています！

セレヤ / Safe ClubのOG”

ケニアのゴロゴチョというスラム地域では、性暴力や虐待など、子どもたちは多くの危険にさらされており、地域住民の「子どもの権利」に対する認識も低いものでした。
グッドネーバーズは30名の男女の生徒たちと児童クラブ(Safe Club)を立ち上げ、子どもの権利教育や性教育を実施しました。生徒たちは子どもへの性暴力を防ぐための人形劇を企画し、地域の様々な学校で巡回公演を行ったほか、街頭キャンペーンで地域の人々に子どもの権利の重要性について訴えました。

© Good Neighbors

国内事業

ちびっこおえかきコンテスト

2,083 人の園児がウガンダのアグネスちゃんを応援

『親子でチャレンジ国際理解！ちびっこおえかきコンテスト』は、未来を担う子どもたちが世界にふれるきっかけを作ることを目的に、発展途上国の問題について映像教材を見て絵を描くことで、親子で国際理解を深め、楽しく学べる教育プログラムです。

第六回の当コンテストには、前回を大きく上回る2,083人もの子どもたちから、ウガンダの６歳の女の子、アグネスちゃんを応援する作品が集まりました。2019年1月に実施した審査の結果、最優秀賞1作品、優秀賞2作品、審査員賞3作品、企業賞2作品、GNJP賞1作品、ベネッセ子ども基金賞1作品、団体賞1園、佳作40作品が選出されました。
最優秀賞作品は、お寿司屋さんになった自分の姿と、看護師になってお父さんの腕を治したアグネスちゃんとお父さんの絵を描いてくれた、かしまそうすけさんの作品です。上位10作品と入賞作品すべてが掲載された「入賞作品集」は2019年5月にアグネスちゃんのもとへ届けられました。

現在、7歳になったアグネスちゃんはグッドネーバーズの支援を受けて、兄弟と一緒に幼稚園に通い始めました。毎日元気に登園し、お友達と楽しく勉強しています。アグネスちゃんの家族は、グッドネーバーズの支援で新しく安全な家を建て、洗面所とトイレを設置しました。もう遠くまで水を汲みにいかなくても、家で清潔な水を使えます。お母さんは小さなお店を開き、家族を支えるために前向きに頑張っています。

2018年の成果

参加園
121園

集まった絵の数
2,083作品

表彰式

最優秀賞の作品

グッドごはん

2018年の成果

配付家庭
（2018年1月～12月）
1,275世帯
配布家庭の子どもの人数
2,074人（のべ）

配付した食品の金額
（2018年1月～12月）
19,085,554
円相当

食べる。それはこころもお腹も満たすこと。

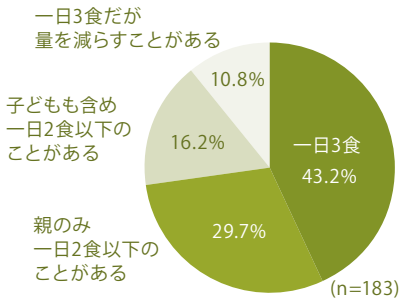
グッドネーバーズ・ジャパンは、国内の子どもの貧困対策への取り組みとしてフードバンク事業「グッドごはん」を行っています。2人に1人にあたる50.8%が貧困状態※1と言われるひとり親家庭へ焦点をあて、「ひとり親家庭等医療費助成制度（マル親）医療証※2」を持つ家庭を対象に食品を提供しています。食品は企業や個人からの寄付で集まったもので、毎月約150世帯に配付しています。

グッドネーバーズ・ジャパンが2018年8月にグッドごはん利用者 376名（有効回答数：185件）に行ったアンケートによると、185世帯中93.5%が就労しているものの、そのうち約6割は非正規雇用者でした。国内母子家庭全体における非正規雇用者43.8%※3と比べても、グッドごはん利用者の非正規率が高い事がわかりました。

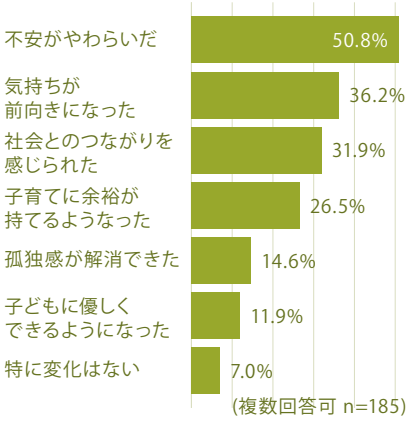
また、夏休み等学校給食がない期間には、利用者の半数以上が1日3食を十分に摂れていない事が明らかになりました（円グラフ）。
さらに今回のアンケート調査では、「グッドごはん」の食品支援は栄養面や経済面だけではなく、精神的にも利用者を支えていることがわかりました（棒グラフ）。食品を受け取りに来た際、お子さんの悩みやお仕事で大変な思いをされていることなどをスタッフに話してくださる方もいます。「グッドごはん」を利用することで少しでも利用者の方々の不安が和らぎ、ひとり親世帯の親子が心身ともに健康でいられるよう、今後も支援を続けてまいります。

※1 平成28年国民生活基礎調査/厚生労働省
※2 主に18歳未満の子どもを養育するひとり親家庭等、所得が限度額未満の家庭に対する医療費の助成制度
※3 平成28年度全国ひとり親世帯等調査

夏休みや休日の家庭での食事



グッドごはんによる気持ちの変化



“食べる＝生きる事なので、命が繋がった思いがあります。
母子家庭にとって、食べ盛りの子どもにたくさん食べさせてあげられないのは、心が 痛く、不安になります。ですが、こうして支援していただけることはとても有り難く、生きていくのに前向きになれました。”

利用者アンケートより

2018年の人道支援

2018年の成果

緊急支援(7件)	ベトナム	洪水および山崩れ緊急支援	3,811人
	インドネシア	ロンボク島地震緊急支援	5,890人
	インドネシア	スラウェシ島地震緊急支援	1,871人
	ラオス	サンパン村火災緊急支援	380人
	ラオス	洪水緊急支援	18,838人
	グアテマラ	火山緊急支援	8,410人
	日本	平成30年7月豪雨	60,913人
防災・減災支援(4件)	バングラデシュ		103人
	ミャンマー		10,000人
	フィリピン		133,945人
	グアテマラ		8,102人
難民支援(4件)	タンザニア	ブルンジ難民生計支援事業	864人
	ウガンダ	コンゴ難民女性保護事業	8,835人
	バングラデシュ	ロヒンギャ難民子どもと女性のシェルター事業	2,400人
	南スーダン	国内避難民支援事業	1,140人
復興支援(1件)	ネパール	2015地震復興支援	48,396人

© Good Neighbors

グッドネーバーズは自然災害や紛争などで、国際的な人道支援が必要とされる現場で緊急支援を実施し、子どもたちと地域住民が一日も早くもとの生活を取り戻せるよう活動しています。
また、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)と連携し、難民支援も行っています。
2018年には海外11ヶ国で252,985人の被災者および難民を対象に、計15回の緊急支援と人道的支援を実施しました。

グッドネーバーズ・ジャパンの緊急支援

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)

2018年7月、西日本を中心に全国的に広い範囲で記録的な大雨が発生、土砂崩れや河川の氾濫が多発し、237名が犠牲となり、住家6,767棟が全壊するなどの甚大な被害をもたらしました（内閣府発表2019年1月）。

グッドネーバーズ・ジャパンは、広島県広島市、岡山県倉敷市、愛媛県宇和島市において災害ボランティアセンターにスタッフを常駐させ、被災家屋の清掃等を行うボランティア派遣業務や運営のサポートを行いました。特に被害の大きかった倉敷市ではボランティア不足を補うため、ボランティアの拠点となる宿泊所「GNJPボランティアセンター」を運営しました。また、被災した子どもたちが勉強できる場所がなかったことから、避難者の多い倉敷市真備町で中高生が勉強に集中できる場として、夜11時まで利用可能な自習スペースを運営しました。

ボランティアに自宅を片付けてもらった方の声

“ほっっっっっんとうにすーーーごい助かりました!!皆さん手際もよくてねー！来ていただかんやったら、今頃まだあれ(土砂など)に囲まれとった。本当にありがとうございました。”

自習スペースを利用した生徒の声

“雨のあと、何も考えられなくてしばらくは勉強できなかったです。自宅は無事だったけど、家で小さい子を預かってるからうるさくて勉強できなくて、図書館も使えないし困っていました。高校は普通科を志望。大学に進学して心理学を学んで臨床心理士になりたいです。(中学3年生)”

※この事業はジャパン・プラットフォーム及び赤い羽根共同基金の助成によって実施されました

ラオス　ダム決壊による水害

ラオス人民民主共和国南部アタプー県において、2018年7月23日夜に建設中のダムが決壊し、多くの村が流され、死者40名、7,000人以上が被災しました。ダム周辺にある6つの村が流され、多くの人が住む場所も財産も失いました。グッドネーバーズは3,264人の女性に衛生用品セットを配布、グッドネーバーズ・ジャパンもスタッフを派遣して洪水により浸水した6村の全住民1,799世帯(7,534名)へそれぞれ調理器具・食器・米10kgを支援しました。

※この事業はジャパン・プラットフォームの助成によって実施されました

インドネシア　スラウェシ島地震

インドネシアのスラウェシ島において、2018年9月28日夜にマグニチュード7.5の地震と津波が起き、2,000人以上が犠牲となり、多くの建物や住居が倒壊しました。グッドネーバーズ・ジャパンは被害の大きかったスラウェシ島ドンガラ県にスタッフを派遣し、調査を行いました。その結果、食事を作るための調理器具や食器が不足していたことがわかり、家屋が重度の被害を受けた1,777世帯の方へ調理器具や食器、マットレスを配付しました。女性たちはこれまで食事のたびに、薪を集めてきて火を起こすという重労働をしていたので、ガスコンロは特に喜ばれました。被災者の方々は避難生活の中でも、家庭ごとに食事を作って食べることを願っていました。今回の支援により、被災者の方々が少しずつでも元の生活を取り戻していく手助けをできたのではないかと思います。

小学生の息子を2人持つアスニアルさん

“今まで倒壊した自宅から掘り出してきた穴の空いたフライパンを使って、食事のたびに隣人や親せきからフォークやスプーンを借りていました。今回いただいた調理器具と食器にはひとつずつ名前を書きました。大切に使います。”

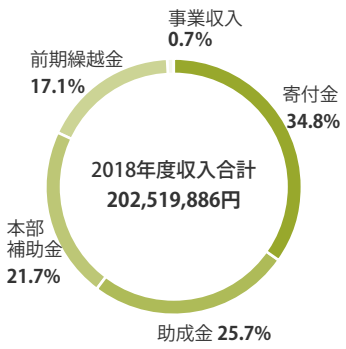
※この事業はジャパン・プラットフォームの助成によって実施されました

会計報告

2018年度収支計算書(2018年1月1日～12月31日)

Ⅰ 経常収入の部		（単位：円）
寄付金収入		70,524,598
助成金等収入		96,003,556
助成金収入	52,076,045	
グッドネーバーズ本部補助金収入	43,927,511	
事業収入		1,365,589
その他収入		285
経常収入合計		167,894,028

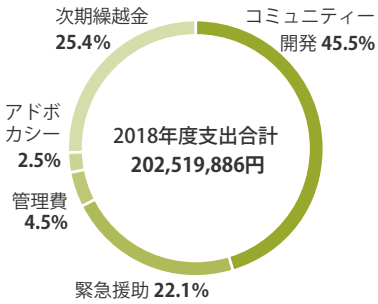
Ⅱ その他資金収入の部		
計上外収益（為替差益・雑収入）		11,129
前期繰越金		34,614,729
収入合計		202,519,886



支出の部

Ⅲ 経常支出の部		
1 事業費		
(1) 開発途上国等の子ども達並びにその家族および地域社会のための地域開発支援事業	40,337,922	
(2) 開発途上国等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援	44,752,115	
(3) 地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の子ども達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解の促進	9,193,989	
(4) 国際協力に対する日本の人々の理解を深める啓発事業	5,133,925	
(5) 国際協力に参加する機会を広く日本の人々に提供する普及活動	42,226,008	
寄附された物品を含む物品の販売事業	319,998	
ホームページ・会報等への広告掲載事業	6,530	
事業費合計		141,970,487
2 管理費		9,058,865
経常支出合計		151,029,352

Ⅳ その他資金支出の部		
法人税、住民税および事業税		70,043
計上外費用（為替差損）		32,959
退職給付費用		0
次期繰越金		51,387,532
支出合計		202,519,886
当期収支差額		0



貸借対照表(2018年12月31日現在) （単位：円）

Ⅰ 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	18,634,370	
未収金	4,494,757	
商品	90,690	
貯蔵品	341,156	
寄付物資	3,866,316	
仮払金	3,947,140	
緊急支援等事業特定資産	22,841,570	
流動資産合計		54,215,999
2 固定資産		
敷金	803,500	
退職引当特定資産	9,590,000	
固定資産合計		10,393,500
資産合計		64,609,499

Ⅱ 負債の部		
1 流動負債		
未払金	3,025,519	
預り金	536,448	
未払法人税等	70,000	
流動負債合計		3,631,967
2 固定負債		
固定負債合計		9,590,000
負債合計		13,221,967

Ⅲ 正味財産の部		
前期繰越正味財産	34,614,729	
当期正味財産増減額	16,772,803	
正味財産合計		51,387,532
負債及び正味財産合計		64,609,499

監査報告書

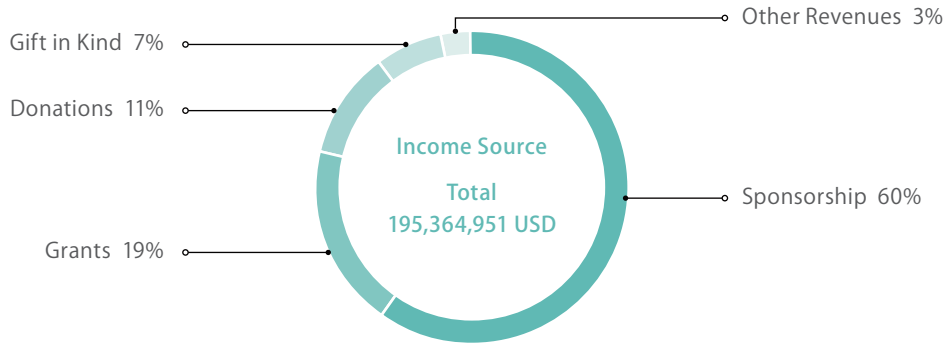
これは、JANICの「アカウンタビリティセルフチェック2012」マークです。JANICのアカウンタビリティ基準の4分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

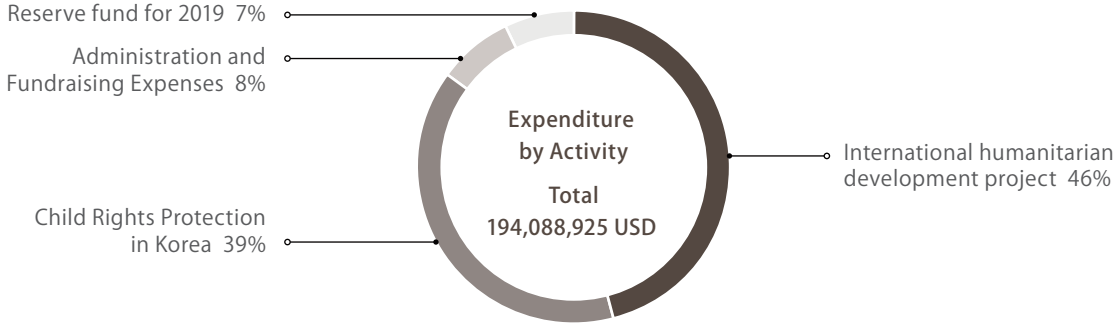
役員

代表理事： 福井　玲（東京大学教授）
副代表理事： 韓　福相（大阪産業大学教授）
常務理事： 小泉　智（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）
理事： 李　一夏（グッドネーバーズ・インターナショナル理事長）
龍　千恵（公益財団法人ベネッセこども基金事務局長）
姜　恩和（埼玉県立大学准教授）
監事： 黄　貴成（有限会社八と二　代表取締役）
法務顧問： 金子　憲康（弁護士）
財務顧問： さくら会計事務所
労務顧問： 浅井　浩次（特定社会保険労務士）

Income&Expenditure

			Total(USD)	%
Income	Contributions	Donations	21,827,748	11%
		Gift in Kind	12,612,108	7%
		Sponsorship	117,158,061	60%
	Grants		37,187,297	19%
	Other Revenues		6,579,737	3%
	Total		195,364,951	100%
Expenditure	Program Expenses	International humanitarian development project	90,597,654	46%
		Child Rights Protection in Korea	75,708,995	39%
	Administration and Fundraising Expenses		14,816,742	8%
	Reserve fund for 2019		14,241,560	7%
	Total		195,364,951	100%





VISION

子どもの笑顔にあふれ、誰もが人間らしく生きられる社会

MISSION

国内外のパートナーと共に、
貧困及び差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

認定NPO法人　グッドネーバーズ・ジャパン

〒143-0016 東京都大田区大森北 2-14-2 大森クリエイトビル3階

TEL : 03-6423-1768　FAX : 03-6423-1766　E-mail : admin@gnjp.org

HP : www.gnjp.org　Twitter : @GNJapan　Facebook : facebook.com/gnjapan